



発行
静岡県立浜松西高等学校同窓会
 発行人
稲垣 訓 宏
 題 字
町 田 晃
 編 集
同窓会報編集委員会
 浜松市中区西伊場町3番1号
 電話 053-456-0662
 印 刷
(有)和三印刷
 発行部数 14,700
 浜二中卒業生 2,041名
 浜西高卒業生 23,338名
 (内女子4,872名)
 内22年度卒業生198名(93名)

平成二十三年度総会報告

六月二十五日(土)午後四時より、グランドホテル浜松孔雀の間にて、平成二十三年度同窓会総会が開催され、八十四名の会員の出席を得た。稲垣訓宏同窓会長、植松豊名誉会長の挨拶に続き、今年度の議事について協議がなされた。

◇議事

- (一) 平成二十二年事業報告
- (二) 平成二十二年決算報告、及び同監査報告
- (三) 「二〇二一 新春の集い」事業報告、決算報告、及び同監査報告
- (四) 役員交代
- (五) 平成二十三年事業計画案
- (六) 平成二十三年度予算案
- (七) 「二〇二二 新春の集い」事業計画

◇報告事項

- (一) 同窓会員の現状報告
- (二) 「新春の集い」の参加者の集計結果報告
- (三) 浜松西高等学校同窓職員名簿

◆役員交代

議事の第四号議案にて、年度替



わりに伴い、新春の集い幹事二名による副会長が、高四十三回から高四十四回へ交代することが発表され、高四十四回大村明広・小枝知世枝新役員の名が紹介された。

◆平成二十三年度事業計画

議事の第五号議案にて、会報の発行、同窓会ホームページの運営管理、新春の集いの開催、講演会の企画、西山賞の授与、語学研修の補助など、二十三年度事業計画についての説明があり、審議の結果承認された。



また、ホームページの運営管理の現状について、岩淵副会長及び近藤氏より「著作権や肖像権など難しい部分もあるが、タイムリーなものを載せていきたい。ネタがなかなか集まらない部分があるので、学年やまわりで何か実施され



Put a spring to your step
& a smile to your face!

元点
再起

静岡県立浜松西高等学校 同窓会
2012年 新春の集い

■日時：2012年1月2日(月) START 15:00~ ■場所：グランドホテル浜松

主催：浜松西高等学校同窓会 運営：浜松西高第44回(平成4年)卒同窓会幹事会

【チケットのお問合わせ】
090-3484-3592(喜多)または090-7027-1535(服部)

【記念誌広告のお問合わせ】
080-3355-3059(鈴木)または080-3355-3068(山本)

「原点回帰」は、「自分が原点であると思った場所に戻ること、初心に戻ることを意味し、学生時代を懐かしむ「新春の集い」は原点回帰の良い機会と考え、今回のタイトル『元点回起』という造語を作りました。「新春の集い」に1人でも多くの同窓生が参加していただき、旧友との再会、諸先輩方との新たな出会いを通じて、西高の素晴らしさを再認識してもらうとともに、同窓生それぞれの「原点回帰」の時間にしていただきたいと思います。

『元気な心を共有し、さらなるパワーアップを!』
多数のご参加お待ちしております。

日時：平成24年1月2日(月) 15:00~

場所：グランドホテル浜松

会費：8,000円(高44回卒以前)

5,000円(高45回卒以後)

主催：浜松西高等学校同窓会

運営：浜松西高第44回(平成4年)卒同窓会幹事会

チケットのお問合わせ：090-3484-3592(喜多)

090-7027-1535(服部)

記念誌広告のお問合わせ：080-3355-3059(鈴木)

080-3355-3068(山本)



た場合は、同窓会事務員へ、是非一報していただきたい。」との説明及び依頼があった。

◆「二〇二二 新春の集い」事業計画

高四十四回卒 大村代表幹事らによる挨拶があり、テーマである「元点回起」について、「『原点に返って本来の自分を再認識し、さらなるパワーアップをして前進しよう』という思いを込めた『原点回帰』の発展形を意味する造語である」との説明と事業計画が発表された。

総会終了後は、例年通り、懇親会がスタート。壇上には、学校よりお借りした野球部春季西部大会の優勝旗が掲げられ、野球部のみならず、西高生の活躍を期待しての力強い乾杯となった。

また、二〇二二年新春の集い幹事たちは、各テーブルに挨拶とチケット購入のお願いなどをしてもらった。

学年を超えて和やかに行なわれた懇親会は、二〇二一年新春の集い井口代表幹事による一本締めをもって閉会となった。

同窓会会長挨拶



同窓会会長 稲垣訓宏(高12回)

同窓会の諸兄姉の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。いつも同窓会活動にご理解と温かなご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。昨年の同窓会総会で会長を仰せつかり、初心者マークで出発した一年でした。初心者マークですので、ゴールドマークのように周りの道路状況を判断しながらの運転もままならず、さらにスピードももたもたしたものであったかと思えます。この未熟なドライバーングも、経験豊かな副会長の五名の方々の強力なお力添えをいただき、やっと目的地の半分の道のに着きました。この一年間、会員諸兄姉からは温かい励ましと前向きなご意見、

ご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

さて、同窓会会則にも謳われているように、毎年初冬に開催される「新春の集い」は、会報の発行、ホームページの開設と共に同窓会の主要な事業の一つです。この事業を担う幹事の方々には、母校、浜西高を卒業して二十年、それぞれの職場で中堅を担うスタッフとして活躍している方々です。忙しい職務が終わった夜、同窓会館に集まり、「新春の集い」事業の企画、実行を検討し、新年二日に開催をしていただいています。この事業は一年もかかる長丁場で、「新春の集い」の幹事の方々の努力と実行力には、本当に頭の下がるものです。

この「新春の集い」は、高10回の方々が苦難の末、始められたものとうかがっています。今年度の「2011新春の集い」で三十四回を超えます。十年ほど前には千名を超える参加者で賑わい、浜松でも指折りの同窓会の集まりとして名を馳せていました。しかし、時代の変化でしょうか、ここ数年は参加者が年を追うごとに少なくなり、五百名を切るのではないかと危機がささやかれていました。「新春の集い」は、会則にも謳われているように同窓会活動の原点です。千名を超える同窓生の方々に「新

春の集い」に出席していただき、西山台での青春を語り明かし、「同窓会活動のルネッサンスを拓きたい」が悲願でした。

今年の「2011新春の集い」は千八名の参加者を数え、悲願であった「同窓会のルネッサンス」の窓が開きました。この成果は、「新春の集い」の代表幹事をはじめとし、百名を超える幹事の方々の努力の賜であることは間違いありませんが、同窓会の諸兄姉のご協力、お力添えがあつて初めてできたことです。今後ともご協力のほどお願いいたします。この同窓会ルネッサンスを確かなものにするために、昨期からはその年の「新春の集い」の幹事から、男女各一名の方に副会長に加わっていただき、「同窓会活動」と「新春の集い」の事業をシンクロナイズさせ、相乗的な効果が同窓会活動に発揮されることをはじめました。

浜松西高等学校同窓会は、会員数二五、〇〇〇名を擁し、九十年を迎えようとする実力と経験豊かな集まりです。「同窓会ルネッサンス」を確かなものにし、名誉ある同窓会を一層発展させていくよう力を尽くしたいと存じます。一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げます。

校長先生挨拶



校長 植松 豊

同窓会の皆様には、日ごろよ
り本校の教育活動に御理解と御
支援を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

本年度、本校は併設型中高一
貫校になってから、ちょうど10
年目を迎えました。当初、公立の
併設型中高一貫校は全国的にも
ほとんど例がなく、手探りで
様々な取組を進めてきましたが、
10年を経過する中で併設型中高
一貫校としての一つの形ができ
あがってきたと感じています。

中等部では、国語、数学、英語
などの授業時数を一般の公立中
学校より多く設定して、コミュ
ニケーション能力の育成や発展
的な学習に力を入れたり、日本

への理解を深め広く世界へ目を
向けさせるため、2年次に京都・
奈良への研修旅行、3年次にマ
レーシア・シンガポールへの海
外研修旅行を実施したりするな
ど、特色ある取組を行っていま
す。また、高校では、大学教授等
による模擬授業、同窓生による
講演会、本校教員による土曜講
座など、生徒一人ひとりの進路
実現に向けた様々な取組を行っ
ています。部活動では、中等部生
は3年次の秋から高校生の中
入って活動することができま
す。また、高校から入学してくる生
徒と中等部から進学してきた生
徒が切磋琢磨しあう姿も見られ
ます。

このように、中等部から入学
した生徒は6年間、高校から入
学した生徒は3年間、それぞれ
併設型中高一貫校の特色を生か
して充実した学校生活を送って
います。その結果、大学進学にお
いても部活動においても、別掲
の資料にもありますように、多
くの生徒が難関大学に合格した
り、部活動で県大会、東海大会、
全国大会に出場したりするなど
の成果をあげています。

今後は、10年の間に築かれた
基礎を土台として、浜松西高・同
中等部の更なる発展を目指して
努力してまいりたいと考えてい
ます。

第10回 浜西フォーラム 同窓会会長 稲垣訓宏氏講演会

平成23年2月19日(土)、ホテ
ルコンコルド浜松で、百名余り
の出席者の元、浜西フォーラム
が開催されました。

第一部は、「銀木犀の間」で、私
ども西高同窓会の会長である高
12回の稲垣訓宏氏の講演「大学
の教授を終えて今伝えたい事」
が行われました。

稲垣氏は現在、静岡大学名誉
教授(高分子学会フェロー)とし
て活躍中です。

講演では、アメリカのセント
ルイスのローラという町に行か
れ、ミズリー州の州立大学に留
学された当時のお話をされまし
た。

実験後みんなでディスカッショ
ンをするのですが、意見を言わ
ないとポジティブでないと言わ
れます。当時の日本では、「わかっ



ているから何も言わない」とい
う風潮でしたから、「あなたは、
何も言わないからわかっているな
いのですね?」と言われ大変
ショックを受けられたそう
です。また、日本では、討論では
相手を打ち負かす場。アメリカ
では、いろいろな意見を出し合
う場という感じ
です。

今の日本の学生には、「イン
ターナショナルでは、意見を出
し合わないといけない」「失敗を
恐れず、前向きに行くことだ」と
指導され、今の大学の役目は「コ
ンセプトの構築力と、それをや
り遂げる学生を育てること」と
述べられ、教育への熱い思いが
伝わってきました。

第二部は、「雲の間」に会場を
移し懇親会が行われました。司
会の高42回安間氏の進行によ
り、和やかな雰囲気の中、様々
な世代の方との交流が図られま
した。また、選挙間近の折で、各
候補者や出席者の皆さんが、そ
れぞれ壇上上がり、近況を登
表されました。最後に、次年度
「新春の集い」の幹事である高44
回生が壇上上がり「元点回起」
のテーマを報告、恒例の高12回
前田米蔵氏のエールにて閉会と
なりました。



同窓会専用電話・ファックス

☎/FAX 053-456-0662

Eメールアドレス

hama24@shizuoka.email.ne.jp

※毎週火曜日午前9時~12時までは事務員(平野さん)が対応。それ以外は
ファックス・メール又は、留守番電話にメッセージを録音して下さい。

今年の春から藤田さんの後
任に平野はつ季さんが同窓会
事務局に着任されました。
京都のご出身で、責任感の
ある笑顔が素敵な方です。

平成22年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 12,375,770 円
 支出総額 5,480,714 円
 差引残額 6,895,056 円

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減額	備考
繰越金	6,555,690	6,555,690	0	前年度繰越金
入会金	3,000,000	2,984,160	△15,840	高校63回生198名,終身会員入会金1名
基金利子配分金	25,200	25,200	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	0	828,042	828,042	新春の集い基金剰余金
雑収入	50,000	1,982,678	1,932,678	預金利子、同窓会名簿売上
基金取崩収入	0	0	0	定期預金取り崩し収入
合計	9,630,890	12,375,770	2,744,880	

支出の部

科目	予算額	決算額	比較増減額	備考
1 事務費	700,000	630,703	69,297	
事務局費	400,000	333,182	66,818	事務局員給与、事務局維持費等
需用費	300,000	297,521	2,479	複写機リース料、プリンタートナー代等
2 会議費	700,000	429,486	270,514	
総会費	500,000	259,878	240,122	総会会議費
役員会費	200,000	169,608	30,392	役員会、執行部会会議費
3 事業費	4,300,000	4,420,525	△120,525	
会報費	2,800,000	3,439,171	△639,171	ホームページ運営費、会報印刷代、送料等
助成費	1,500,000	981,354	518,646	慰霊祭、香料、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 予備費	3,930,890	0	3,930,890	
合計	9,630,890	5,480,714	4,150,176	

平成23年5月17日
 以上のおり報告します。

静岡県立浜松西高等学校同窓会 会長 稲垣 訓 宏
 会計 鈴木 敏 勝

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成23年5月17日 会計監査 前田 米 蔵 印 会計監査 市川 静子 印

平成23年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書

収入総額 12,561,756 円
 支出総額 12,561,756 円
 差引残額 0 円

収入の部

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備考
繰越金	6,895,056	6,555,690	339,366	前年度繰越金
入会金	3,600,000	3,000,000	600,000	高校64回卒業生240名
基金利子配分金	6,700	25,200	△18,500	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	1,000,000	0	1,000,000	新春の集い剰余金
雑収入	20,000	50,000	△30,000	預金利子、名簿代
エアコン設備使用料	1,040,000	0	1,040,000	後援会より23年度から12年間回収
合計	12,561,756	9,630,890	2,930,866	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備考
1 事務費	700,000	700,000	0	
事務局費	400,000	400,000	0	事務局員給与、事務局維持費等
需用費	300,000	300,000	0	複写機リース料等
2 会議費	600,000	700,000	△100,000	
総会費	400,000	500,000	△100,000	総会会議費
役員会費	200,000	200,000	0	役員会会議費
3 事業費	4,000,000	4,300,000	△300,000	
会報費	2,500,000	2,800,000	△300,000	ホームページ運営費、会報印刷代、送料、会報編集委員会運営費等
助成費	1,500,000	1,500,000	0	慰霊祭、香料、歓送迎会、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 基金繰入金支出	0	0	0	基金（定期預金）設定
5 予備費	7,261,756	3,930,890	3,330,866	
合計	12,561,756	9,630,890	2,930,866	

※科目間の流用を認める

二〇一二年

新春の集いを終えて

代表幹事 井口幸英(高43回)

平成23年1月2日、今年もグランドホテル浜松において、盛大に「新春の集い」を開催できましたことをまずは心よりお礼申し上げます。

今年の「新春の集い」は、「永久なる母校愛！〜誇りを胸に永久なる未来へ！〜」をテーマに活動を進めてまいりました。

歩んできた時代は違えど、西山台で青春時代を過ごしてきた様々な年代の西高同窓生が、「新春の集い」を通して「西高」に対する母校愛を共有することができる会にしよう！」と、高43回同窓生一同、心を合わせ強い気持ちで取り組みました。

その思いを具現化するため、西高OBによる様々な活動にスポットを当て、記念誌及び壇上パフォーマンスにて紹介させて頂きました。今尚、西高を深く愛し、熱く、熱く活動されている多くの同窓生の思いや活動の様子をお伝えすることができたと思います。

諸先輩方や後輩たちの熱い思いに触れるたび、西高卒業生であることの喜びを味わうとともに、西高に対する母校愛と西高同窓生であることの誇りを改め

て感じる事ができました。

多くの問題をかかえた現代の中で生きる私たちではありませんが、今年の「新春の集い」をきっかけに、西高同窓生の新たなつながりが更に広がり、西高OBによる様々な活動がより活性化されることを強く願っています。



そして、私たちをつなげてくれた西高に対する『母校愛』と、西高卒業生であるという『誇り』を胸に、永久なる未来に向かって力強く歩んでいくきっかけになれば幸いです。5月に東京の新橋に行ってきた。目指すは「新春の集い」をきっかけに作成した西高同窓会ノートが置いてある「有薫酒蔵」。店内には、全国各地の高校の同窓会ノートがたくさんありました。その中にわが母校、「浜松西高等学校同窓会ノート」が！

人々が出会い、つながることの喜びを感じることができました。二〇一二年の「新春の集い」は、高44回同窓生が幹事となります。来年の新春にまた西高の風を吹き込んでくれることと思います。最後に同窓会・同窓生の皆様

2011年 新春の集い 決算書

(単位:円)

項目	金額	備考
収入の部		
広告売上	10,520,000	広告協賛企業 512社
チケット売上	7,630,000	販売枚数 1,094枚
雑収入	78,000	祝儀他
預金利息	930	
収入合計	18,228,930	

(単位:円)

項目	金額	備考
支出の部		
会場費	9,354,273	グランドホテル他
景品費	636,660	会場費、飲食代等
印刷費	3,212,767	記念誌、チケット、チラシ他
通信費	389,057	携帯電話、ハガキ他
会議費	2,003,599	幹事会、部会経費
事務費	102,580	コピー用紙他
交際費	264,500	西高フォーラム参加他
渉外費	1,154,162	クライアントとの打合せ他
雑費	277,200	寄付金・写真代他
その他	6,090	振込手数料他
本会計繰入金	828,042	
支出合計	18,228,930	

以上の通り、ご報告申し上げます。

静岡県立浜松西高等学校

高43回卒 2011年新春の集い幹事会

代表幹事 井口 幸英
会計 伊藤 篤志

上記の通り、正確に処理され適正と認めます。

平成23年3月26日 会計監査 前田 米蔵
会計監査 市川 静子



第七回同窓会講演会

平成二十二年十一月十九日、浜松西高のOBで、現在(株)テレビ静岡制作局制作部スポーツ担当部長でいらっしやる鈴木敏弘さん(高31回)を講師に迎え、中等部、高等部の千六百六十人の生徒を前に「人生一度、ジタバタしようよ!」という演題で講演会を開催しました。ご自分の経歴をご紹介くださる中で、我々には知り得ないテレビ関係者ならではの話を交えながら、生徒達に様々な視点でものを見る大切さや、自分で短所と思っていることは自分の個性になりうる、ということに熱く語られていました。

以下、講演内容
大切なことは常に正面から向き合うことだと思えます。
喉は起きてから四時間後に開きます。

真面目になり、おちゃらけになり、叫ぶ。

低い声、高い声、ゆっくり、早く:自分の中に引き出しをいっぱい持っています。...こんな話しから講演が始まりました。
高校時代は四百十一人中四百五番目という成績で、二浪して大学へ入った。

一、二年時は北海道の分校で過ごし、陸上部、バイト、飲み会、

大学と、楽しく二十四時間があつという間。大学二年の雪祭りで格好悪い一体の男性アナウンサー雪像と出会い(こんな姿でも皆に愛されるアナウンサーという職はすごい!)と思いい、三、四年の東京生活では平日の大学に加えて、土日はアナウンサー専門アカデミーへ通った。

卒業時の就職試験では「やらないで諦めるのはどうしても嫌だ!」と三十社のアナウンス試験に臨んだ。しかし、全滅。埼玉で椅子販売の営業マンに。叱咤激励されて過ごした三ヶ月目の七月、ラジオ福島より「一番目の人がリタイヤしたから来ないか?」と声がかかり「道が開けたら未練はない」と福島へ向かった。

しかし、気が小さくて声が出ない、言葉が出ない、人見知り。いじめもあり、給料泥棒といわれる始末。ラジオは何もない世界。打開策として、
①番組の間に入れるクッションとして秒単位で原稿を起す。
②声を出すべく、腹式呼吸を覚えた。(バカヤロー等、感情を込める。ジャンプなどしたときに出る言葉)
③ネタを話すには「ありのままじゃべってごらん」とのアドバイスを受け、通勤時二十分、歩きながらずつとしゃべることを続けた。におい、空気などを立体的に話し、目に映ったことを口に出す。

一ヶ月続いたら自然とできるよ
うになり、いつもと同じこともラジオを通すと新鮮に感じられた。
○競馬中継担当
「真剣にやれ!」とパンチをく
らったことがあり、言葉の力
てすごいと実感。

○F1実況担当
ドライバへのインタビュ
ーでは、空気を暖め、ゆっくり自
分のハートが伝わるまで待つと
心を許し、本音を聞くことが
できると学んだ。

○スポーツ実況担当
感情を込めた実況に、初代絶
叫アナウンサーと呼ばれる。そ
れまでは感情をいれずに淡々と
話すのが主流のため、うるさい、
やめろ等の抗議電話が二千本殺
到。しかし、上司が「心を動か
した証拠だ!明日は三千本もら
う!」と短所となりうる個性を
かってくれた。

最後に、「人に危害を加える短所
はだめだが、短所も個性。誰か
わかってくれる人がいるものだ。
個性を大事にしてほしい。いい
子ばかりが良いわけではない。
広い視野を持ち、いろんな世間
を知れば、柔軟に対応できる力
がつく。どれだけ広い視野を持
ち、深い知識を持っているかは
武器になる。目標が決まってい
たら突き進め、決まっていな
かったら猶予をもらおう。個性
を忘れず、いろんなことを楽し
んで。」と結んでくれました。



高一の思い出



杉田 豊(高9回)

「3・11」といえば、今も「東
日本大震災」の恐怖がよみがえ
る。この類い希な大震災は、福島
原発とともに世界中の耳目を集
めた。しかし、私にとって、「7・
5」は「3・11」に勝るとも劣
らない生涯忘れることのできな
い悪夢の一日であった。昭和二
十九年七月五日、母校が火災に
あつた日のことである。

その日、普段通り、早朝浜名
湖畔から村営の汽船で弁天島に
渡り、国鉄に乗り換え間もなく
のことだった。車内の会話から
「火事?」という言葉が耳に入っ
てきた。しばらくは気にも留め
ず教科書を開いていたが、舞阪
駅を過ぎる頃から車内の様子に
異変を感じた。どこかで大きな
火事があつたらしい。この時ま
で、まさか母校が火災にあつた
とは夢にも思わなかった。高塚
駅を過ぎると乗客はほぼ満員、
火災の話でもちきりとなった。
どうやら高等学校が火災にあつ
たらしい。乗客の視線は一斉に
左の車窓にあつた。

母校がない! この衝撃は今
でも鮮明に思い出す。西山台に

鎮火の白い煙が立ち昇っている
のが車内から見えた。夢かと思
った。しかし、次の瞬間、これ
は大変なことになったという思
いが脳裏をよぎった。

不安を胸に浜松駅から駆ける
ようにして登校したが、焼跡を
前に言葉もなくただ茫然と立ち
尽くした。夏休みが前倒しで実
施され、八月中旬から二学期が
始まった。我々一年生は講堂兼
体育館)での間仕切り授業で
あつた。数学の時間に、隣りから
聞こえる古文の名調子に聞き
入ったこともしばしば。今と
なつては懐かしい。授業に不満
を唱えた者はいなかった。先生
方の真剣な取り組みが生徒の動
揺を払拭してくれていたのだと
思う。火災が紡ぐ絆のゆえか、
我々は今も強い同窓の「絆」で結
ばれている。

時代は移り、今、母校は中高一
貫教育のもと、着実に発展を遂
げている。この制度は中等教育
の一層の多様化を図るものであ
り、私自身、県教育長時代精魂込
めて取り組んだ事業であつたこ
とから行く末を楽しみにしてい
る。先日、娘を西高校と中等部に
通わせているという母親に会っ
て送っていると聞き大変うれし
く思ったことである。幸い、歴代
の校長先生はじめ教職員の皆様
のご尽力で、理想の学校づくり
が進められている。世界に貢献
できる人材の育成を心から期待
するとともに、母校の益々の発
展・充実に祈っている。

OB会活動紹介 野球部OB会

昨年の夏、西山台にて掛川東高校と対戦する(夏の大会を終え、高二年生がいなくなつた)西高野球部を見学しました。目の前で見ると元気なかけ声と小気味よい動き、迫力あるプレーは野球音痴の私までも魅了してくれました。目にはいつたのは、応援する現役生徒のみならず、先生、父兄、コーチ(OBボランティア)、OB、近隣の方。これほど応援の人が集まる部活動は他にあるでしょうか?

野球部OB会会長の小笠原守之助さん(高23回)のお話をお聞きしました。

「野球は、チームプレーだけでなく、ピッチャー対バッター、一対一の真剣勝負もできる『野球道』です。チームプレーとは、結果だけでなく、日々いかに過ごしているかが問われるもの。失敗や挫折、成功を通して勝ち負けよりもっと大切なことがあることを学べる。西高野球部は、高い目標に向かって、情熱・探求心を持ち文武両道をはかり、品位と礼儀を持った人間作りをしている。レギュラーになれなかった選手、ベンチに入れなかった選手が社会に出てから活躍しているのが、野球部OBとして何より嬉しいし誇りに思う。」とおっしゃっていました。

OB会には野球部卒業生のほとんどが加入され、毎年、一月に「新年総会」、四月に恒例の「浜

松北高との定期戦」、夏の静岡大会の抽選の翌週に「夏の祭典」、静岡大会の本番では「応援ツアー」、月に一度の「役員会」、「現役選手名鑑」の発行、ホームページの運営など大変活発な活動がされています。

(高39回 岩淵千江)



野球部選手名鑑

野球部過去の主な戦績

- 甲子園出場
- 昭和56年夏(二回戦選出)
- 一回戦 浜西1-0佐賀学園
- 二回戦 浜西1-2北陽
- 県大会優勝
- 昭和43年春(東海大会ベスト4)
- 昭和55年春(東海大会出場)
- 昭和56年夏(甲子園出場)



昭和56年8月8日第63回全国高校野球選手権大会 甲子園球場にて

県大会準優勝

- 昭和46年夏
- 昭和55年夏
- 県大会ベスト4
- 昭和29年春・昭和33年春
- 昭和33年秋・昭和38年春
- 昭和42年秋・昭和42年夏
- 昭和45年秋・昭和46年春
- 昭和56年春・平成6年秋
- 平成23年春

県大会ベスト8

- 昭和23年夏・昭和28年夏
- 昭和29年夏・昭和33年夏
- 昭和41年夏・昭和44年夏
- 昭和45年夏・昭和47年夏
- 昭和55年秋・平成60年秋
- 平成62年春・平成9年夏

対浜松北高OB定期戦

野球

23年4月17日(日)浜松球場において浜松西対浜松北野球部OB定期戦が開催されました。本年は現役選手達が24年ぶりに西部大会優勝を飾り、この日集まったOBの皆さんの間でもその話題で持ちきりでした。

試合は初回、北高先頭打者にセンター前に打たれ三塁手のエラーもあり早々に1点を許してしまう展開で始まった。その後3回にも加点され、本校の打線も4回まで安打3本と相手の継投に抑えられる。

変わって5回からは40歳以下の戦いとなり6回には飯田(45回)・藤崎(37回)の安打で同

点とする。続く7回にも山本祐介(54回)・太田昌孝(57回)の連打で2点を加え逆転しました。一方投手陣も4回以降完璧に北高打線を押さえ、4対2と勝利しました。

例年は超打撃戦の展開であったが本年は接戦の試合展開となり伝統のOB定期戦を飾る試合となりました。

(高28回 村上由喜孝)

戦績は18勝13敗3分
 浜松西 1000-002-200-4
 浜松北 101-000-000-2



サッカー 第三十六回定期戦結果

現役A戦	浜西 3-0 浜北
OB戦55歳以上	浜西 1-1 浜北
OB最強戦	浜西 2-2 浜北
現役B戦	浜西 2-1 浜北
OB戦	浜西 0-1 浜北
OB戦30歳以上	浜西 5-0 浜北
西高中等部対北高現役C	浜西 0-3 浜北
ゲストマッチ	
浜松特別支援学校 対 袋井特別支援学校	1-1
浜松特別支援学校・浜西合同チーム 対 袋井特別支援学校	1-1
浜北合同チーム	1-1

三十六回の西北戦を振り返って
 毎年八月第一日曜日は、浜松西高校と浜松北高校の現役サッカー部員とOBの方々が集まり定期戦が行われています。現役選手においては各種大会で直接対決や大会結果などを競いながら、お互いに成長し、OBの方々からは旧友を深めながらも、永遠のライバル浜松北高校と競い合う良い機会となっております。

第36回の定期戦は、遠州灘海浜公園球場で行われ、今年度は浜松西高校が幹事当番で開催されました。現役部員・父母会、若手OBから80代の超OBの方々まで多くの方に集まっていたので、緑色の芝生の上で十分楽しくボールを追いかけることができました。また、今年も浜松支援・袋井支援学校サッカー部との交流会も開かれサッカーを通じて交流ができたと思います。

定期戦の結果は55歳以上・OB最強軍ともに互いにゆずらず、2試合とも引き分けに終わり、最終戦の現役戦の結果は、お互い新チームになって、チーム作りの最中であつたが、浜松西高校の積極的な守備と効果的な攻撃によって浜松西高校が3-0と完封し勝利を収めるとともに定期戦も勝利することができました。現役選手の目の前でOBの方々の真剣なプレーやいくつになっても勝利にこだわる姿を見せてもらえたことは、サッカーに對する考え方も刺激されたいと思います。そして、今後も浜松西高校・浜松北高校のプライドをかけた戦いが続くことを期待しています。

叙勲の人

平成22年秋の叙勲

瑞宝中綬章 石川 勝 高2回
 瑞宝双光章 嶋 竹秋 高6回
 瑞宝小綬章 太田幹晴 高11回
 瑞宝小綬章 尾上辰夫 高11回

瑞宝中綬章

石川 勝(高2回)



昨秋、文部科学省より、東京での叙勲伝達式と皇居における拝謁の御沙汰があり、大変光栄に存じましたが私の身体不自由の故、その伝達式に出席できなかったこと、況して皇居において拝謁の栄を逸してしまつたことは、真に残念でなりません。しかし私一人の授与式を鹿児島大学の御好意により、十二月末に学内で挙行して下さいました。学長先生始め、理事、教授、その他の先生方の出席の下、無事に「勲章」と「同勲記」を受領し、感激も又、ひとしおでございました。

現役時代、東西ドイツ分裂の時期に、在外研究員としてヨーロッパ

留学を許されたことは、ドイツ文学研究者として得難い体験でありました。当時、東西ドイツの接点であったゲッティンゲンは、私の研究テーマである「低地ドイツ語」の最適の研究場所でありました。今も、そのこの住民と文通を続けています。

愚直に四十年勤められたのも、皆様の温かい励ましがあつたのこと思つております。今後は、私の健康の許す限り努力してゆく所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

瑞宝双光章

嶋 竹秋(高6回)



昨年秋の叙勲で教育功勞により瑞宝双光章を受賞し、皇居で天皇陛下に拝謁の栄に浴しました。そして今年一月二日の新春の集いにも浜松西高同窓会長稲垣様より栄誉を讃えられ、表彰状と記念品をいただいたことは、身に余る光榮であり感謝しております。

今回の受賞は、私自身思ひもよらぬことでした。在職した

小・中学校や教育行政機関等で出会つた方々の支えがあつたお陰であります。また初めて校長に昇任したときに高6回卒の同期生が集まり、さりげなく祝つてくれたことも私への励ましになりました。

退職前の二年間は全日本中学校校長会代議員を務めていた関係で、平成七年に皇居へ参内し、天皇陛下からお言葉を賜りました。生涯で二度の拝謁を賜り、時代は変わろうとも国家の教育に対する期待に感奮しました。

今後とも浜松西高同窓生の皆さんが更なる研鑽を積まれ、社会の様々な方面で活躍なされることを念願しています。

瑞宝小綬章

太田幹晴(高11回)



一月二日の恒例「新春の集い」にお招きをお受けしたことに、出席できませんでしたこと深くお詫びします。同窓会長の稲垣訓宏様から、表彰状と記念品まで届けていただき、ただ申し訳なく感謝の念で一杯です。叙勲とは何か、改めてその重み

を痛感して同窓会の皆様に厚くお礼を申し上げます。

定年退職してから十年、固らずも受賞しました契機に三十八年間の教職生活の一端を振り返りました。高等学校の教員(理科・生物)として勤務できた原点は、浜松西高生として三年間に素晴らしい多くの恩師に出会えたことです。生徒との触れ合いの心は、いつも恩師から授かったものでした。正に恩師が鑑であり、在学できた幸せを感じています。教育行政にも少し在職させていただき、この間は先輩の陰と陽のお力添えによつて携わることができました。

温かく親切なご指導ご支援をいただいた方が、同窓の先輩と後に知り赤面を幾度も重ね、同窓の絆を思い知りました。それに比して私は今まで何をしていたのか、反省ばかりです。今後は限られた時間と行動半径の中で、同窓会のテーマを念頭に歩んでまいりたいと思つていきます。ありがとうございます。

瑞宝小綬章

尾上辰夫(高11回)



思いがけない受賞で身に余る思いです。去る十一月九日国立大劇場での伝達式のあとバスで皇居に参内し、平安の間において天皇陛下に拝謁し、お言葉を賜りました。大学に入学した昭和三十四年四月、皇居前広場で皇太子殿下御成婚の馬車行列を遠方より拝見してから、はや五十一年が過ぎ、今皇居で天皇陛下に拝謁しているとは：夢のようで感無量でした。

受賞は浜松西高先輩諸氏や同僚など、多くの方々のお力添えのおかげです。

「授業で勝負する」を合言葉に二十年間教壇に立つてきました。生徒とともに、益も正月も返上で汗を流した日々が懐かしく思い出されます。その後十六年間、教育委員会と三つの高等学校で勤務させていただきました。「洪柿の洪そのままの甘さかな」。今は洪い柿でも、大切に育てれば、やがてその洪さ故に一段と味わい深い甘さを持つ柿になる。そのことを身を以て示してくれた先生方に感謝します。

この度は同窓会から表彰状並びに記念品をいただき、誠に有り難うございました。七十年の人生の中で浜西卒の持つ意味の大きさをしみじみ思う今日この頃です。

活躍する同窓生

はっこい!

瀧川鯉昇 山下秀雄(高23回)

秋だったか初冬だったかはつきり覚えていない。とにかく天気は良かった。天竜川の河川敷・東海道本線のガード下・落とし式の車内トイレから滴る水滴が風で流れていく。それを横目で見乍ら自転車を引っぱってブラブラ歩いていった。隣には同い年の他校の女子生徒がいる。

生まれてはじめてのデートだった。「こんちわ」「さいなら」以外の会話はしなかったような気がする。高校一年の文化祭演劇部の公演で主役だった。一年生の部員は私一人だった。二年生の先輩が恋人の役で、二人の抱擁シーンがあった。抱擁と云っても電信柱に奴だこがぶら下がっているような形だったと記憶している。生まれ



てこの方女の子の手も握った事のない堅物の私は、この役を降りるの退部するのと、グズついでに公演だった。この芝居のどこに感激したのか半月後に、中学の友だちを通して一通のラブレター…かな、なる物が届いた。そしてデートとなったのである。

今の私なら麦畑をさがすところであるが、その時十五才の私は大変なパニック状態であった。早朝から当時まだまだたくさんあった髪をオジから借りた丹頂チツクでコテコテになでつけては、又洗って直す作業を三、四回くり返した。服装は父と共有のポロシャツの中で目立たない暗い色の物を選んで着た。二人きりで会話ははずむ要素はどこにもなかった。その日得た教訓は「私はこのままでいいかい」という事であった。

ただこの日を境にして少しの積極さが増し、恥をかく事の恐怖が少し薄れた。

五年後、落語界へ入る事の踏ん切りをつけたのは、この日の想いが多分に後押ししている。

今はもう恥と共存の日々であり、それが嗺のマクラのエネルギーになっている。

かっこう悪い事に興味を覚えた若い人が、私の下に一人又一人と集まるようになった。今門人が十人いる。それぞれに不器用な弟

子達が五年十年とたつうちにだんだん芸人の形になろうとしている。私の恥のかき方が彼らのお手本、いや参考書ぐらいにはなっているのかもしれない。

十八才の時から書きつづけている日記の末尾には、反省・大反省・激辛反省、悪かった、気をつけよう、もうしない、バカだね俺は…の文字が毎日のように書き記されている。

数年前から故郷浜松でその門人が落語会に出演をさせて頂いている。勢揃いの一門会も本年で四回目(今年は七月三日)。日本語もあやしいやつから真打ちまでの面を綿綿と世話をしてくれるのが、あのデートの頃からずつつき合ってくれている同級生を中心とした友人たちである。

ホント故郷の方角には足を向けて寝た事はありません。実家に泊まる時は立ってねています。

ヨルダン 海外青年協力隊員を訪問して



鈴木 周司(高44回)

まず、この度の東日本大震災で被災された多くの方々へのお

見舞いと、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

昨年、私は中東のヨルダンへ行ってきました。きっかけは、「バスマロディオンは鈴木楽器から出ています。」という声です。世界各地でボランティア活動をする日本人の隊員が現地に必要な物資の無償提供を呼び掛けるリストにその文字を見つけました。他にも多くの物資が不足している中で、「何とかその国に貢献したい、役に立ちたい、彼らの強い思いへ是非協力したい。」直接物資を届け、その思いや話を聞きたいとヨルダン訪問を決めました。

ヨルダンは日本から8900キロ離れ、イスラエル・イラク・シリア・サウジアラビアなどと接し、面積は日本の1/4程度です。人口約600万人のうち、30%以上が第3次中東戦争などで住まいを奪われ難民となったパレスチナ人であり、今回の訪問先はその難民キャンプの小学校と幼稚園でした。実際訪問すると、隊員の方々の想像を上回る情熱的、精力的な活動の実態を目の当たりにし、只々頭が下がらばかりでした。当時、世界に派遣されている日本人のボランティア隊員は約3200人。その内、ヨルダンには約70人が駐在しており、それぞれの技術や経験を昼夜問わず、現地の方々

に必死に伝える姿がありました。(参考:日本は1953年から



UNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)の活動に加わり、教育、職業訓練、医療、ライフラインの建設整備など様々な援助活動を行っています)

私は大学卒業後、自分の夢、憧れを持って、海洋土木という世界で仕事をしてきました。多くの方々にお世話になりました。多くのことを学ぶことができました。でも、今振り返ると、他人の為になっていると感じているより、自分がやりたかった仕事ができている満足感を先に強く感じていたように思います。このことが良いか悪いかは私にまだ



判りませんが、純粹に「誰かに必要とされる喜び、必要とされることへの感謝」を、ヨルダンでの経験で学ぶことができました。そして、仕事への意義や社会的な使命、自身の今後の生き方までも改めて考えさせられる非常に貴重な経験となったことを付け加えてさせていただきます。

略歴

日本大学工学部卒。立興建設株式会社（大阪府）にて海洋土木に従事。現在、株式会社鈴木楽器製作所専務取締役。

経営コンサルタントとサンバがどうつながるのか？



吉見 雄一（高44回卒）

経営コンサルタントとして起業して以来、地元である舞阪で「まちおこし」に携わってきました。当時、はつきり言って世間知らずだった私ですが、人間万事塞翁が馬、ここから奇跡的な出会いを積み重ね、気が付いたら「まちおこし」で講演会までさせていた人生何が起こるか分からないのです。

経営コンサルタントを端的に表現すると、『色々な企業の業績アップの指南役』と言う所です。こんな私が何故まちおこしか？と思われる方も多いと思います。が、実は似ている所が多いのです。例えば、商店街には色々な種類の店舗があり、商店の経営者それぞれで色々な考えをお持ちです。これは企業において役割ごとに各部門が存在し、タイプの異なる色々な方が働いている点に似ています。そして、多種多様な店舗それぞれを活性化しつつ、全体の集客力の向上、ひいては商店街全体の売上増加につなげることは、企業が業績をアップさせるために色々な施策に取り組むことと似ています。

街を興す際、何か新しい『名物』や『アイキャッチ』が必要で、何か無いだろうか？と探している丁度その時に出会ったのがサンバチーム『エスココーラ・ジ・サンバ・ハママツ』でした。ご存知の通り、浜松地区は日本で一番ブラジル人の住んでいる街であり、わが町舞阪の澄んだ空、青い海と砂浜、港町のイメージがサンバの街リオデジャネイロとピッタリでした。昨年、『弁天島サンバの街計画』の第一弾として、十年以上の歴史ある『えんばい朝市』で演奏させていたのだいたところ、おかげさまで大人気！毎回演奏する度に聞きに来て下さるファンまで現れました。その噂を聞きつけた商工会

からサンバパレードの依頼まで頂戴しました。サンバはとても不思議な音楽です。街中のカフェで掛かっている音楽のほとんどがサンバから派生したボサノバですし、演奏すれば心が躍りだす、そのうち体が踊りだす。パレードをすれば観客まで楽しく踊りだしてしまふのですから、サンバはまさにまちおこしにピッタリの音楽です。今では私自身も虜となり、前述のサンバチームのマネジメントもさせていたれています。浜松の街中で、パレードで、イベントで私達サンバチームを見かけたら、飛び入りメンバー大歓迎です！一緒に踊りましょう！

略歴

名古屋市内の大学卒業後、宝飾業などに従事。二〇〇八年十二月経営コンサルタントを起業、現在「YSマーケティング アクアレ」代表。

”喋り手”



河村 由美（高44回卒）

私は典型的なおばあちゃん子。両親が共働きだったので、祖母

と過ごす時間が多かったのですが、幼い頃から喋り好きだった私に、祖母は「あなたは喋りの仕事に就くといいかもね」とずっと言い続けてきました。今思えば「洗脳」です（笑）。そんな訳で、小学校では放送委員になり、私は何の疑いもなく、喋り手への夢を膨らませていったのです。

とはいえ、高校時代は特に何かやっていた訳ではありません。部活は剣道部でしたし、将来の夢について友人に話したこともほとんどなかったのではないのでしょうか？具体的に考えはじめたのは、大学時代。放送研究部に所属し、活動する中で気付いたのです。喋る仕事、といっても様々な種類があるんだな、と。テレビ、イベントの司会、ナレーション、声優……。いろいろ経験する中で、私が目覚めてしまったのは、ラジオの面白さでした。基本的に生放送であることが多いラジオの世界は、まさに「生もの」の臨場感に満ち溢れています。「これだ！」と思った私は、就職活動でラジオ業界ばかりを狙いました。ところが、ラジオ局って、そもそも採用人数が少ない！ですから、全国のラジオ局をくまなく受験することになったのです。

そんな中で採用してくれたのが、新潟にあるコミュニティFMでした。規模の小さなFM局でしたから、お喋りだけでなく、番組の構成から選曲、ミキサーの操作に至るまで全て一人でやらなければ

なりませんでしたが、時にはアンテナに積もった雪を降ろすために屋根にのぼることも。しかし、ここでの経験が功を奏し、K-MIXのオーディションに合格することができました。

えっ！？県域放送で？と驚かれるかもしれませんが、K-MIXでも、同じようにたった一人で番組の全てをハンドリングする、通称「ワンマン」と呼ばれるスタイルで作られている番組があったのです。新潟での経験からそれが出来た私は、ある番組に採用され、晴れて地元で仕事ができるようになりました。

現在は、ワンマンで作っている番組の他に、チーム制作の生放送や、街に飛び出して中継するレポートの仕事など、フリーのパーソナリティとして、いろいろなジャンルにチャレンジさせていただいています。特にリクエストや番組宛に寄せられるメッセージを通したリスナーさんとのコミュニケーションは本当に楽しくて、私の元気の源ですね。機会があったら是非、K-MIXにチューニングしてみてくださいね。

略歴

「フリーアナウンサー・現在K-MIX静岡エフエム放送にて『MIX CARAMEL POCKET』（金）『CINEMA SQUARE』（金）『うーらじ』（火・木）などの番組を担当。」

第35回浜松西高同窓ゴルフ大会

平成23年5月18日(水)に恒例のゴルフ大会を開催しました。本年度は高32回卒業生が幹事を務めました。

2月の役員会で大会要綱が確定した後に東日本大震災が起き、多方面でイベントの中止が決定していく中で、幹事の間では「本当にやるのか」という声も出ました。しかし、「みんなで集まって元気になるうや」という声の高まりを経て、無事に当日を迎えました。

浜名湖CCの支配人が「稀に見る好天」とおっしゃるほどの絶好のゴルフ日和のもと、約二〇名の参加者が楽しみながら全力でプレーされました。けがや事故がほとんど無く、全日程を滞りなく終えることができました。幹事一同心より喜んでおります。



競技の結果は、以下の通りです。

◆シニアの部

高11回以上 70名参加
優勝 津田兼資 (高11)

グロス 81 ネット 69・0

第2位 杉本範正 (高11)

グロス 83 ネット 71・0

第3位 野寄正男 (高10)

グロス 86 ネット 71・6

◆一般の部

高12回以下 137名参加
優勝 松田正人 (高40)

グロス 98 ネット 70・4

第2位 池谷吉正 (高28)

グロス 77 ネット 71・0

第3位 藤田重喜 (高16)

グロス 86 ネット 71・6

◆レディースの部

2名参加
優勝 鈴木亮子 (高25)

グロス 117 ネット 77・4

(以上敬称略)

なお、同窓会からの御厚意に



より、今大会から「同窓会長賞」としてシニアの部・一般の部それぞれの優勝者にトロフィーを授与し、次回より持ち回りでペナントに名前を残していくことになりました。

また、東日本復興支援を目的としたチャリティー募金に多くの参加者から御賛同いただき、浄財二十万二千円を『東日本復興応援浜松元氣バジプロジェクト』を主催する浜名湖えんため・やらまいか実行委員会に寄付させていただいたことを御報告申し上げます。

最後に、多大なる御協賛をくださった皆様、そして、御理解・御協力をくださった多くの同窓生の皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

(幹事学年 高32回卒一同)

人生は一回、Let's enjoy



鈴木 学 (高22回)

地球上に生存して六十年が過ぎた。幸運なことにボク達は、ヘビヤカエルではなくて人間として地球上に誕生できた。さらに地球上に誕生した時代と場所も良かった。戦争中ではなく、中東や北朝鮮でもなく日本に生まれて本当に幸せだった。

そんなボク達が十五才の時にたくさんの方の中から西高を選び同級生になった。このようにして世界中の同い年の中から西高同級生四百五十人と地球上でめぐり逢えたことは奇跡である。こうして皆でそろって還暦を迎えることは大きな喜びである。

努力することができたと自負している。また市内在住の同級生が集う二ヶ月に一度の飲み会を三十年以上も続けている。そういえば高校生時代の忘れられない出来事があった。当時は、大学で学園紛争がさかんで東大の入試が中止に追いこまれることもあった。ボク達が高校三年生の時の文化祭での出来事である。なんと我が西高に機動隊がやって来たのだ。詳細は忘れたけれど他校の左翼学生が文化祭に乱入してくるのを防ぐために導入されたものと思われる。西高の歴史で初めての出来事であった。

ボク達の高校生時代は、大らかであり勉強もせず部活や遊びに没頭していた。そのせいで進学実績も現在の卒業生と比べるのも恥ずかしいが四百五十人中、国立大学に進学できたのはたったの八十人程度で早慶もほんの少数だった。そのかわり学年のまとまりは良く三十八才時の新春の集いの幹事も大勢の同級生が精力的に行動して立派に

還暦を迎えるボク達は季節で言えば「秋」を迎えた頃だといえる。これからは今まで育ててきた果実を収穫してさらに楽しい人生を送りたいと切に願っている。

次々の要件を満たす学校が良い学校だと考える。

一、多くの卒業生が社会で活躍し社会に貢献している。
一、卒業生の多くが卒業してからも母校を思い母校を愛し続けている。
ボク達も母校を愛している証として来年の新春の集いには大勢で参加したいと思っている。

司法書士 陸上部OB会会長
元同窓会副会長

【中等部】

平成22年度クラブ成績一覧表

	浜松市大会	県大会	東海大会	全国大会	浜松市新人大大会	県新人大大会	その他主な大会	
陸上	3年男子 100 m 3位 3年女子 100 m 6位 共通女子 200 m 8位 1年女子 800 m 7位 共通女子 4 x 100 mリレー 5位	3年男子 100 m 3年男子 110 mH 4位 1年男子 1500 m 3年女子 100 m 2年女子 100 m 2年女子 100 m 1年女子 800 m 5位 1年女子 800 m 共通女子 4 x 100 mR ジュニアオリンピック県大会 3年男子 110 mH 3位 3年女子 100 m 6位 1年女子 800 m 3位 1年女子 走幅跳 7位	3年男子 110 mH 出場 3年女子 100 m 出場 1年女子 800 m 出場	3年男子 110 mH 出場	女子 100 m 6位 女子 100 m 7位 女子 800 m 1位 女子 800 m 10位 女子 走幅跳 7位 女子 100 m 2位 女子 200 m 2位 女子 800 m 1位 女子 走幅跳 8位 女子 4 x 100 mR 2位 女子 100 m 6位 女子 800 m 3位 女子 4 x 100 mR 5位 男子の部 8位 女子の部 6位 男女総合の部 1位 男子総合 2位 女子総合 2位 女子 400 mリレー 2位 女子 400 mメドレーリレー 3位 女子 200 m個人メドレー 3位 女子 100 mハタフライ 1位 女子 100 mハタフライ 3位 女子 400 mメドレーリレー 2位 女子 200 mハタフライ 2位 女子 200 mハタフライ 3位 男子 400 mメドレーリレー 2位 男子 100 mハタフライ 1位 男子 100 mハタフライ 2位 男子 100 m自由形 2位 男子 200 mハタフライ 2位	女子 1年 800 m 2位 女子 4 x 100 mR 2位		
駅伝								
水泳	男女総合優勝 女子総合 2位 男子総合 2位 女子 400 mVR 3位 女子 400 mR 2位 男子 400 mVR 2位 男子 400 mR 4位 女子 400 mVR 2位 女子 50 mFr 3位 女子 200 mFr 1位 女子 200 mVR 3位 女子 100 mFr 3位 女子 100 mFly 4・5位 女子 100 mBa 12・20位 女子 100 mBr 6位 男子 400 mVR 12・20位 男子 50 mFr 1・7位 男子 200 mFr 28位 男子 200 mFr 3位 男子 200 mBr 9・12・15位 男子 200 mBr 4・7位 男子 200 mVR 11・25位 男子 400 mFr 22位 男子 100 mFr 2・8位 男子 100 mFly 5・7・19位 男子 100 mBa 12・13位 男子 100 mBr 4・7位 以上 西部大会 出場 予選 トーナメント 出場 予選 リーグ 出場	男子 400 mVR 3位 男子 400 mR 7位 女子 400 mVR 5位 女子 400 mR 8位 男子 50 mFr 4位 女子 200 mFr 4位 男子 100 mFly 7位 女子 50 mFr 出場 女子 400 mVR 出場 女子 200 mVR 出場 女子 100 mFly 出場 女子 100 mFr 出場 女子 100 mBr 出場 男子 400 mVR 出場 男子 200 mFly 出場 男子 100 mFr 出場 男子 100 mBR 出場	女子 400 mVR 13位 男子 400 mVR 13位 男子 50 mFr 12位 女子 200 mFr 11位					
野球								
サッカー								
男バスケ	県協会長争奪西部選手権大会 5位 夏季中体連大会 1位	県協会長争奪選手権大会 出場 夏季中体連大会 5位			新人大大会 出場			
女バスケ	決勝 トーナメント 進出				浜松地区大会 5位 西部地区新人大大会 出場 シングルス優勝 3位 ダブルス 4・6・16位			
男テニス		団体戦準優勝 団体戦準優勝 シングルス 9・13・15位 ダブルス 3位	団体戦 出場			団体戦 3位 シングルス 7位 ダブルス 優勝		
女テニス		団体戦優勝・シングルス 10・12位 団体戦 3位・ダブルスベスト 16 シングルス 6・14・15位 ダブルス 3・4・5・7位	団体戦 3位 個人戦 (ダブルス) 5・6位	団体戦 出場 個人戦 (ダブルス) 出場	シングルス 2・5・12位 ダブルス 2・10・12位	団体戦 3位		
ソフトテニス	決勝 トーナメント 進出							
男卓球	団体戦 5位 個人戦 20・21・26位	5位 (ベスト 8) 入賞 個人戦 出場			団体戦・個人戦 出場 団体戦 11位 団体戦 12位 カデット個人 3位 浜松市民個人ベスト 8	団体戦 出場 個人戦 ベスト 32 カデット個人 5位	東海卓球選手権個人 出場 JOC 個人戦 出場	
女卓球	団体戦予選リーグ 3位							
柔道	女子個人戦 44kg 4位	女子個人戦 出場						
剣道	男子団体 8位 女子団体 ベスト 16	男子団体 出場						

(前期)	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		全国大会に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
科学			静岡県中学生ロボットコンテスト	準優勝・3位	東海大会 出場予定	
美術	菌の衛生週間ポスターコンクール	浜松市長賞				
吹奏楽	静岡県吹奏楽コンクール西部地区大会	銀賞	中部日本吹奏楽コンクール県大会大賞の輝	準優勝	中部日本吹奏楽コンクール本大会 出場	
(後期)						
吹奏楽					静岡県中学生ロボットコンテスト	東海北陸大会応用部門 出場
弦楽	TBSこども音楽コンクール厚木地区大会	最優秀賞	静岡県小中学校器楽合奏大会	浜松市長賞 (2位)	全国中学生創造ものづくり教育フェア自主制作作品部門 出品	準優勝
					中部日本吹奏楽コンクール本大会	最優秀賞
					TBSこども音楽コンクール	
					東日本優秀演奏発表会	

【高等部】

	静岡県高校総体	県大会	東海大会	全国大会	高校新人大大会	県大会	東海新人・その他協会	
陸上	優勝 男子 100 m 女子 走幅跳 女子 走高跳 女子 棒高跳 男子 200 m 男子 1600 mリレー 女子 400 mリレー 男子 200 m 男子 400 m 男子 1500 m 男子 400 mリレー 女子 走幅跳	優勝 男子 200 m 男子 400 m 男子 1600 mリレー 女子 走高跳 女子 走幅跳 男子 400 mリレー 男子 100 m 男子 200 m 女子 100 m 総合 男子 5位	2位 男子 200 m 男子 400 m 男子 1600 mリレー 女子 走高跳 男子 200 m	6位 男子 1600 mリレー 出場 男子 200 m 男子 400 m 女子 走高跳	優勝 男子 100 m 男子 200 m 男子 800 m 男子 400 mリレー 女子 400 mハードル 女子 1600 mリレー 女子 100 mハードル 男子 400 m 男子 1500 m 男子 5000 m 男子 400 mハードル 女子 100 m	優勝 男子 200 m 男子 100 m 男子 1600 mリレー 女子 100 mハードル 女子 400 mハードル 女子 走幅跳 男子 400 mリレー 女子 1600 mリレー 男子 100 m 女子 100 mハードル 男子 5000 m 男子 400 mハードル 女子 100 m 学校対抗男子総合の部 6位	優勝 男子 200 m 男子 1600 mリレー 国民体育大会走高跳 2位 女子 400 mハードル 男子 5000 m 女子 100 mハードル 男子 1600 mリレー 女子 走幅跳 日本ユース 優勝 男子 400 m 男子 200 m 女子 棒高跳 4位	東海北陸大会応用部門 出場 エア自主制作作品部門 出品 準優勝 最優秀賞

【高等部】

	静岡県高校総体			高校新人大会		その他協会・連盟 主催の主な大会	
	西部大会	県大会	東海大会	全国大会	西部大会		県大会
陸上	4位 男子800m 女子200m 女子100mハードル 5位 男子800m 女子100m 女子1600mリレー 6位 男子500m 7位 女子100m 女子走幅跳 8位 男子1500m 女子100m 女子400mハードル 総合 男子4位 女子4位	7位 男子棒高跳 8位 男子800m		国民体育大会 少年女子共通 走高跳 同 棒高跳 出場予定	4位 女子100mハードル 女子走幅跳 5位 女子100m 女子走幅跳 6位 男子100m 男子400m 女子200m 男子800m 男子1500m 8位 男子800m 男子3000m障害 女子走幅跳 学校対抗男子総合の部2位 男子トラックの部優勝 女子総合5位・女子トラックの部4位	学校対抗トラックの部3位 女子総合の部4位 トラックの部4位	
水泳	1位 女子50m自由形 2位 女子100m自由形 3位 女子400mリレー 4位 女子400mメドレー 5位 女子200mメドレー 女子200m平泳ぎ 女子50m自由形 6位 男子200m平泳ぎ 7位 男子50m自由形 男子100m自由形 男子400mメドレー 8位 男子100m平泳ぎ 男子800mリレー 9位 男子100m背泳ぎ 女子100m自由形 女子400mメドレー 男子総合7位・女子総合4位	2位 女子50m自由形 女子100m自由形 9位 男子100m平泳ぎ 女子50m自由形 女子400mリレー	7位 女子50m自由形 女子100m自由形出場	女子50m自由形出場 JOC女子50m自由形出場 国民体育大会400mリレー出場予定	2位 女子50mFr 3位 女子100mFr 8位 男子100mFr 4位 女子200mリレー 女子200mリレー 女子200mBr 5位 女子400mリレー 6位 男子100mFr 男子1500mFr 女子100mFly 男子200mリレー 7位 男子400mリレー 男子200mリレー 8位 男子50mFr 男子100mBa 女子200mIM 女子200mFr 男子400mリレー 9位 男子100mFr 男子200mBa 女子200mIM 男子総合7位 女子総合5位 秋季大会5位 新人戦出場 新人戦3位 新人戦9位 シングルス20位 ダブルスベスト32団体戦出場 新人戦シングルス1位 2・16位ベスト32 新人戦団体戦1位	2位 女子50mFr 3位 女子100mFr 8位 男子100mFr	東海選手権4位 女子50mFr JOC 出場予定
野球	秋季大会5位 予選リーグ2勝1負1分	静岡大会出場			秋季大会5位 新人戦出場 新人戦3位 新人戦9位 シングルス20位 ダブルスベスト32団体戦出場 新人戦シングルス1位 2・16位ベスト32 新人戦団体戦1位	秋季県大会出場 1次トーナメント出場 ベスト16 県大会出場 シングルス出場	
サッカー	インターハイ3位	インターハイベスト16					
男バスケ	インターハイ8位	インターハイベスト16					
女バスケ	インターハイシングルスベスト32 新人戦シングルス20位	インターハイ団体優勝 シングルス3・5・6・8位 ダブルス4位	団体3位 シングルス出場 ダブルス出場	沖繩総体団体ベスト8進出 シングルス出場 ダブルス出場			
男テニス	インターハイシングルスベスト32 新人戦シングルス20位	インターハイ団体優勝 シングルス3・5・6・8位 ダブルス4位	団体3位 シングルス出場 ダブルス出場	沖繩総体団体ベスト8進出 シングルス出場 ダブルス出場			
女テニス	ダブルス優勝 ダブルス3位 ダブルス11位	インターハイ団体優勝 シングルス3・5・6・8位 ダブルス4位	団体3位 シングルス出場 ダブルス出場	沖繩総体団体ベスト8進出 シングルス出場 ダブルス出場			
卓球	インターハイダブルスベスト24 インターハイシングルスベスト16 インターハイダブルスベスト8 インターハイ学校対抗6位	インターハイダブルス出場 インターハイシングルス出場 インターハイダブルス出場 インターハイ学校対抗出場	中部日本卓球選手権大会 一般シングルス出場 一般ダブルス出場	全日本卓球選手権ジュニアの部 男子33位 女子5・9・17・25位 高体連新人戦(学校対抗)5位 高体連新人戦(個人)男子13位 女子4・13・17・25位	全日本卓球選手権ジュニアの部 男子ベスト32 女子11・15位ベスト32 高体連新人戦(学校対抗)女子5位 高体連新人戦(シングルス) 女子13・14・16位	ジュニアシングルス出場 一般シングルス出場 女子ダブルス出場 東海卓球選手権 ジュニア男子シングルス出場 ジュニア女子シングルス出場 女子ダブルス出場	
柔道	女子団体5位 男女個人90kg ベスト8 100kg ベスト8 52kg4位 63kg4位	女子出場 個人戦女子52kg ベスト8 男女団体出場 全日本ジュニア選手権 男子66kg ベスト16 男子予選リーグ出場		個人男子100kg8位 個人女子57kg3位 63kg2位 男子団体戦7位 女子団体戦5位			
剣道	男子13位			高体連新人戦女子団体12位 浜松市スポーツ祭女子団体3位			
弓道	男子団体8位 男子個人出場 女子個人出場	男子団体13位 男子個人出場 女子個人出場 男子団体6位		新人戦男子団体県大会出場 新人戦男子個人県大会出場 スポーツ祭男子7位・女子7位 スボ-ノフェスティバル男子団体大会出場			
ポ-ト		男子舵手つき3位 女子ダブルスカル2位	男子舵手つき1位 女子ダブルスカル3位 男子総合優勝 女子ダブルスカル団体本戦出場権獲得	女子ダブルスカル出場予定	男子舵手つき3位 女子ダブルスカル3位 女子舵手つき4位	国民体育大会出場	

	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		東海・全国に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
文化部(前期)						
科学			生物班：山崎自然科学教育振興会 透視標本によるコトリスの発育の研究	研究助成対象認定		
写真	静岡県立高等学校写真連盟第1回写真コンテスト	優秀賞・金賞・銀賞・銅賞				
吹奏楽	静岡県立吹奏楽コンクール東海3編成の部西大会	1位 金賞 地区代表	静岡県立吹奏楽コンクール東海3編成の部静岡県大会	金賞 県代表	東海吹奏楽コンクール 高校B編成の部 第30回美濃地区高等学校吹奏楽選手権大会(女子個人)	金賞 5位
囲碁将棋(後期)			第28回静岡県高等学校写真コンクール 平成22年度静岡県高等学校文化祭写真部門	入賞		
美術	第41回西郡展	奨励賞 1部7位(団体)	高文祭囲碁部門個人の部(女子) 第21回高等学校将棋個人戦団体戦	2位 4位	第30回美濃地区高等学校吹奏楽選手権大会(女子個人)	5位
百人一首	第22回静岡県立吹奏楽コンクール東海3編成の部西大会	優勝				
囲碁将棋	第21回静岡県立吹奏楽コンクール東海3編成の部西大会					

http://www.hamanishi.org

英国語学研修報告

七月二十四日(土)〜八月八日(日)の二六日間、英国のカンタベリーにある語学学校(Concorde International)で語学研修を実施しました。十四世紀の作家チヨーサーの『カンタベリー物語』で有名な巡礼地であります。中世の街並みが残る世界遺産のカンタベリーの地でホームステイを体験して、生の英語に触れました。

今年度は、リーマンショックや新型インフルエンザという外的要因にも直接は影響を受けず、また、日本経済にはマイナス要因である円高に後押しされ、36名(昨年度は25名)もの生徒が参加しました。

まず、中世の街並みが残っている世界遺産であるカンタベリーで、英国語学研修ができたことは大変素晴らしいことでした。散策するだけで歴史の重さを感じ、路地に入ると迷ってしまいますが、それでも探求しだくなる街です。語学学校ではスペイン、フランス、中国、香港、イタリア、ブルガリア、ロシア、エジプトなどの諸外国の同年代の子供たちと机を並べて学ぶことにより、今までの日本だけの狭い自分の殻を破り、世界を見つめることができました。英国へ行って世界の子供たちと世界のネットワークを構築する。これは、生徒の予想外の収

穫だったと思います。生徒の英語に関しても、聞く力と自分を表現しようとする力は確実に伸びています。それよりも今後、自分などのように英語を活かしていったらよいか、今回の研修の体験を通してどのように生きていったらよいか、をしつかりとみつめ自分の将来に役立てることが大切です。

後半の週末の夕方には本校が主催となり「ジャパンナイト」という日本文化を紹介するイベントを現地で開催しました。米、英などの英語圏の子供たちがいない中でどの国が中心になつてやっつけていけるか、将来の子供たちの世界像を垣間見ることができました。立派に本校の生徒がホストを務められたと思います。諸外国の引率の先生からお礼を言われ、私も安堵感と同時に誇りを感じました。ジャパンナイトで校歌を声高らかに歌いましたが、普段何気なく聞いている校歌斉唱も異国で聞くとなかなか乙なものです。異国である英国でしかも世界遺産であるカンタベリーの地で本校の関係者が校歌を披露するというのは初めてでしょうか。と

だつたのではないのでしょうか。とかく、西洋文化を崇めがちですが、日本のよさもきつとこれから再発見してくれると思います。

世界の人々の価値観の中に自らを放り込んでみることによつて、異文化を吸収し、世界の人々の価値観を身につける。さらに、日本の良さと海外の良さを再構築させて世界のレベルで物事を考える。世界から西高、日本について考えると、見えないものが見えてきます。今回の研修が次世代のリーダー、世界に飛翔する生徒の育成に寄与できるものと確信しております。

最後に、この研修にご支援いただいた同窓会・後援会の皆様により感謝申し上げます。

引率教諭 辻村 得吉

写真未稿



有川 謹司先生 (高18回)

5月の爽やかな新緑のなか、有川先生のご自宅に同級生数名とお邪魔し、お話を伺ってきました。

先生は、平成元年から12年間、母校である浜松西高で保健体育科の教員として勤務されてきました。その時に抱いた西高生のイメージは「個性豊かで自分を持つている生徒が多い。だからと言って自分勝手ではなく、まとまる時はまとまる生徒」だったそうです。

平成2年から始まった新校舎建設の工事中はグラウンドの半分以上がプレハブ校舎に占められていました。先生が監督をされていた野球部は、学校外に移動して練習をしており、当時のグラウンド事情にまつわる思い出もいろいろお話し下さいました。

平成19年には、高校野球の育成と指導に永年従事し、顕著な功労があった指導者として、「育成功労賞」を受賞されました(高校野球連盟が毎年各県から1名だけ選んでいるもの)。笑う・喜

恩師訪問

ぶ・苦しむ・悔しがる・・・生徒と常に同じ気持ちで野球の指導を続けてこられた先生に本当にふさわしい賞だと感じました。現在は、浜松南高校に勤務されていますが、今年三月に野球のユニフォームを脱ぎ、小学生から続けてこられたご自身の長い野球人生に一区切りつけられました。これからの時間、山登り・旅行・写真等々たくさんのお楽しみをしてみたいそうです。ご自宅にも、山の写真や旅行の思い出をまとめたアルバムが数多くあり、野球に向き合っている以外の先生を垣間見ることができました。

今回の取材を通じ、卒業アルバムを開けば当時の思い出を次々と教えてくださる先生の姿に、多くの生徒と出会い触れ合つてこられた事を実感させられ、うらやましくさえ思いました。また、お話からにじみ出る指導者としての姿勢に尊敬の念を抱きました。私たちもそんな想いを今だからこそ味わえた貴重な時間だったと思います。

有川先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。先生の益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします(高44回 中家美弥子・小枝知世枝)



西山賞受賞者

西山賞とは「全国レベルで別に優れた業績・功績を挙げた生徒」に対して、三部門別（文化・芸術部門、スポーツ部門、善行部門）に同窓会から卒業時に授与されるものです。

中等部

▼文化芸術部門
弓場麻名輝

〔平成20年度全国「明るい選挙ポスターコンクール」〕文部科学大臣賞
木佐森里沙

〔平成22年度全国「明るい選挙ポスターコンクール」〕入選
〔平成21年度「こみの散乱防止と3Rを進めるためのポスターコンクール」〕文部科学大臣賞・総務大臣賞

▼スポーツ部門
織田知邑

〔平成21年度第36回全国中学生テニス選手権〕団体戦ベスト16
〔平成22年度第37回全国中学生テニス選手権〕団体戦ダブルス出場
〔平成21年度第36回全国中学生テニス選手権〕団体戦ベスト16
〔平成22年度第37回全国中学生テニス選手権〕ダブルス出場

▼宮道嘉連
〔平成21年度第37回全国中学校陸上競技選手権〕男子110mハードル出場
杉井晴菜

〔平成21年度第36回全国中学校陸上競技選手権〕男子110mハードル出場
杉井晴菜

陸上競技選手権〕女子1000m出場
若野光

〔平成21年度第49回全国中学校水泳大会〕女子4000mメドレーリレー・4000mリレー出場
古村優

〔平成22年度全国都道府県対抗バスケットボール大会〕出場（県選抜選手）
▼高等部
文化芸術部門
神農広樹

〔平成20年度全日本アンサンブルコンテスト〕木管三重奏銀賞
田中愛莉

〔平成20年度小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト〕佳作
〔平成21年度小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト〕小泉信三賞（最優秀賞）
橋爪衛

〔平成20年度〕平成22年度青少年読書感想文コンクール〕県教育委員会教育長賞（最優秀賞）全国大会出品
佐野文都

▼生物多様性国際ユース会議in愛知2010（主催：環境省）参加
▼スポーツ部門
高田千奈美

〔平成20年度全国高校総体〕シングルス出場
〔平成21年度全国高校総体〕シングルス出場
〔平成21年度国民体育大会〕出場
〔平成21年度全国高校総体〕団体戦ベスト8・ダブルス出場
山田一貴

〔平成21年度日本ユース陸上競技選手権大会〕男子4000mリレー第4位
〔平成22年度全国高校総体陸上競技〕男子1600mリレー第6位
大村陽介

〔平成21年度日本ユース陸上競技選手権大会〕男子4000mリレー第4位
〔平成22年度全国高校総体陸上競技〕男子1600mリレー第6位
袴田晃弘
〔平成21年度日本ユース陸上競技選手権大会〕男子4000mリレー第4位
〔平成22年度全国高校総体陸上競技〕男子1600mリレー第6位
鈴木拓真
〔平成20年度全国高校選抜ボート大会〕男子ダブルスカル第6位
〔平成21年度全国高校選抜ボート大会〕男子舵手つきクオドルプル第7位
湧井翔太郎
〔平成21年度国民体育大会〕少年男子舵手つきクオドルプル準決勝進出
〔平成21年度全国高校選抜ボート大会〕男子舵手つきクオドルプル第7位
西津侑社
〔平成21年度全国高校選抜ボート大会〕男子舵手つきクオドルプル第7位
和久田大介
〔平成21年度全国高校選抜ボート大会〕男子舵手つきクオドルプル第7位
今枝平
〔平成21年度全国高校選抜ボート大会〕男子舵手つきクオドルプル第7位
小沢侘奈
〔平成22年度全国高校総体陸上競技〕女子走高跳出場
〔平成22年度国民体育大会陸上競技〕少年女子共通走高跳出場

「平成24年度静岡県立浜松西高等学校・同中等部の入学者選抜」について(予定)

	中等部	高等部
募集定員	160名(4学級)	80名程度(2学級)
選抜資料	総合適性検査、作文、面接、調査書等	調査書、学力検査、面接、実技検査及び作文 (実技検査及び作文については、「体育的活動」に関する裁量枠希望者のみ)
実施期日	平成24年1月7日(土)総合適性検査、作文	平成24年3月6日(火)学力検査、作文 (作文については上記希望者のみ)
	平成24年1月8日(日)面接	平成24年3月7日(水)面接、実技検査 (実技検査については上記希望者のみ)

*お知り合いの方々にお知らせください。

編集後記

◆不思議な縁で、編集の仕事をして頂き、西高の同窓会のおかげを感じました。(Y)
◆20年ぶりの西高は、タイムスリップして楽しかったです。(M)

◆原稿チェックしていると漢字のわからなさにはびっくりです。(M)
◆今年は新しいメンバーがたくさん加わり、パワーアップしました。(Y)

◆懐かしい同級生、頼もしい先輩方と昔話で盛り上がりながらの編集作業でした。(C)
◆個人的な皆さんと机を並べての作業、面白かったです。(T)
◆会報をお届けできて嬉しかったです。御協力下さいました皆様、有り難うございました。(K)

会報編集委員

- 左右田丈夫(中19回)
- 近藤 哲哉(高9回)
- 岩淵 千江(高39回)
- 西尾 和(高24回)
- 山本 優美(高40回)
- 大隅 康人(高40回)
- 平野亜紀江(高42回)
- 佐藤 恵美(高43回)
- 八木由美子(高43回)
- 大村 明広(高44回)
- 中家美弥子(高44回)
- 小枝知世枝(高44回)
- 古川 千栄(高44回)